

# 常任委員を先頭に今年も志し高く！

## 第4回 常任理事会 発言集

2013年1月20日 開催



第4常任理事会議で出された意見を紹介します。運動の参考にしてください（文責・木村）  
議長 水野 出席者 14人（代表理事3人、常任理事20人 事務局長 総計24人中）

### ～冒頭発言～

（水野議長）

12月の衆議院選挙で自民党が多数をとった。憲法改悪の動きを考えると、極めて重大な状況になっている。憲法の前文や9条を読めば「戦争はできない」ことがわかる。しかし日本政府はアメリカ言いなりで、すでに派兵までしている。憲法があってもこのようなことは起こりうる。しかし、とどめは9条だ。戦争をさせない。戦争をしない国づくりを求める。そのためにも日本から米軍基地をなくすこと、沖縄との連帯した運動が求められる。MV22オスプレイの配備は現在普天間基地に12台、今後更に12台配備する計画だ。また嘉手納基地にはCV22（空軍仕様）オスプレイを9台配備する計画も出されている。低空飛行訓練は日本全土に展開する計画だ。ルートも6つ、拠点も300という話だ。茨城でもヘリポートがある。低空飛行訓練でも、茨城の自衛隊基地にオスプレイが来ることも考えられる。茨城も沖縄や横須賀と連帯しながらとりくむことが必要だ。脱原発の運動では、東海第二原発を含めて、取り組みを進める。憲法を積極的に生かすという取り組みと結合して進めることが必要だ。

組織問題では、日本平和委員会の大会が5月に開催される。全国でも会員拡大に取り組む。茨城でも、年間100人の仲間を迎えるという目標を立てている。遠い目標としないで、次の大会までに実現するよう、取り組みを強化したい。今日の常任委員会では、これらのことを軸に、具体的な方針を確立したい。

◎ 木村事務局長がレジメに沿って報告と提案をした。  
【11：40～12：40】

### ～討議内容～

①情勢 ②経過報告 ③今後のとりくみの順で 午後4時10分に終了

#### 国民の「生活破壊」「改憲」の危険性

【石 岡】レジメに「自民党の比例票は増えている」という箇所があったが、「自民党は比例票を減らしている」というのが事実だ。維新の会が2番目に比例票を獲得している。安倍は維新の会に使いを送り、阿吽の呼吸で憲法改悪勢力である維新の会との連携を図っている。

今日の朝、NHKの日曜討論をちょっとみたが、御用学者、天利経産大臣、商工会議所のトツナなどが、大型補正予算でばら撒きの話をしていて。ばら撒きは日本の経済を末期期状態に追い込む。国債を日銀に押し付けろ。实体经济の裏付けがなければ、消費税の引き上げでばかりでなく、生活が破壊される。彼らは国民を強制的に押さえつけてもやる気になっている。そこに「改憲」がでてくる。地域の平和の会でも運動を進めなくてはならない。土浦では「秘密保全法」の学習会をやっている。憲法に対する攻撃が突進し早にどんどんでてくる。今後はわれわれの運動を強固にやらないとどうしようもない状況になる。

今回のレジメには、情勢が簡潔書きで出しているが、これはキチンととらえて成文化して提起したほうがいいのではないと思う。

【小美玉】新年会の後、近所の人が6～7人ぐらい遊びに来た。

我々は「今の情勢は9条は大事」というが、「中国が日本に攻めてくる」と考えている人もいる。「このままででは、日本は武器を持っていないからダメなのではないか」という意見があった。このままでは攻められる一方になってダメだ。「向こうがやって来たらこっちもやるんだ」という意見もある。7月の参

議院選挙でも、よく話したほうがいい。自民党は今から参議院選挙の宣伝をしている。

#### さまざまな課題を通じ対決

【内原・友部】選挙はみんなとりくむ。しかし我々は「平和の会」なのだから、選挙をやるわけではない。「原発推進」、「オスプレイ配備」、「改憲」などは自民党がやるうとして通じ対決していくことが大切だ。平和委員会として「脱原発」や「オスプレイ配備反対」、「改憲反対」を、どれだけ訴えていけるかが大切だ。我々は政党ではないので、平和への個々の課題からアプローチしていくことが大切だ。

普天間基地のオスプレイへの反対の取り組みはなかなか難しい。どんなとりくみを進めるかということを押えて訴えることが大切だ。

#### 平和委員会の役割は、これからより大切

【那 珂】内原から出されたが、政党もそこはキチンと見ている。彼らの取っている戦略もある。全く自民党化した民主党、より右傾化した自民党、それより右に維新の会があるという構図だ。その力関係の中で、「政権をとった民主党の前にもどそう」という力が勝った結果が、このような状況を生んだ。民主党への反動で、白票が1000万票の単位で出たという。自民党が争点をそらした選挙でもあった。TPPには参加しないような言いかけたかったし、沖縄の普天間基地の移設で、沖縄の自民党は「県外に移設」といった。国民の思いに「民主党がダメ」ということがあり、選挙は自民党が勝った。消費税が実施されると国民生活は破壊される。TPPに参加すれば農業や医療はダメになる。オスプレイは配備されれば、「低空飛行訓練反対」の運動は起きる。平和委員会が全体みて取り組みを進めることになる。平和委員会の役割はこれから、より大切になる。



平和かわら版No. 645 (2月5日号) 別刷り

(1 / 4 ページ)

## 折に触れてさまざまな訴えを

【鹿 行】 潮来市で福祉活動をしている人に「書初めをやれ」といわれ、「再軍備をやるな」書いて「これを普及してくれ」と話した。その人は「そうだ、その通りだ」と反応した。折に触れて「再軍備はするな」と訴えていくことが大切だ。

【那 珂】 安倍首相の従軍慰安婦に関する歴史認識は、平和運動のたにかいに関係してくる。

【石 岡】 経済の側面として、零細事業所で毎年暮れにはボーナスが出たが、昨年末には出なかったという。経済の凹みがひどい。若者はフリーターや派遣、電気産業で見られるように、寮も追い出され、夜はマクドナルドで過ごすという話も出ているくらいだ。若い人は政治に期待をもてない。衆議院選挙で白票はたくさん出ているという話があった。政治への不信が出されている。年金生活をしている人に意見広告の賛同を頼んだが「年金生活だから」と断られた。年金生活をしている人には、将来に対していい方向性は見えない。「自分たちの生活は自分たちで守る」というように、防衛にまわっている。「平和」に関して、毎日の生活の中では考えることができないような状況に追い詰められている。「わかっているのだが、どうにもならない」ということなのかも知れない。

## 必要な宣伝

【阿 見】 今回の選挙で自民党が議席を伸ばしたのは「民主党はダメ」ということから来ているのは事実だと思う。国民は平和的な生活を望んでいる。自民党の「国防軍」などが出て、今後は自民党と国民との軋轢も出てくる。平和委員会は「このままでは平和はなくなる」という積極的な宣伝が必要だ。それらの声が7月の参議院選挙につながっていく。

【石 岡】 自民党はタカ派的な面は参議院選挙までは抑えてくるだろう。決定も先延ばしにして、参議院選挙以後になると思う。この間に地道に学習し、力を蓄えるのが大切ではないかと考える。12月8日に石岡で憲法の学習会を開催した。田村さんに来ていただいて21人が参加した。講演に90分取ったので、体系的に自民党の憲法草案とかをきめ細かく話をしてくれた。県平和委員会としても憲法の学習会を設定したらどうか？学習会は金太郎給の人たちが集まってやるのではないという話になった。今

までと関係ない人が参加して、尖閣問題などを示し、「軍備増強すべし」という発言もあった。参加者の中から「あなたは戦争をやりたいの」などの意見も出た。講演者も回答したが、そのような意見があるのも事実だ。憲法の学習などの集会等を徹底してやらないと負けてしまう。マスコミを通じて何回も何回も「中国が領空や領海を侵犯している」という宣伝している。やられる一方では大変だ。我々も声を大きくしていくほかない。

【阿 見】 「尖閣問題は安保条約の中の事項だ」とクリントンは締め付けてきている。尖閣列島の問題は、部分的に見るだけでなく、全体的に見ていく必要があるだろう。

【小美玉】 国民の関心は景気の動向だ。安倍首相が借金を作っている。国民一人あたり1000万円という借金だ。先行き、若い人たちが払わなくてはならなくなる。これを宣伝する。借金を増やすなどという考え方でやらないと、将来も大変になる。



【石 岡】 現実には安倍首相の政策に期待している人はいる。景気は多分上がると思う。多くの人たちは目先のことしか考えられない状況がある。

東海第二原発の県知事署名は3月までに30万筆を目標としている。保健生協では当初10000筆を15000筆にした。これは達成した。更に3000筆を上乗せして、18000筆とした。当初から考えると、ほぼ倍増している。内部ニュースなどで見ると、各職場や病棟ごとの一覧表を作成して、それを埋めていくなどしている。設定した目標に対してどのくらい達成したかが分かるようにしたりなど、いつも切磋琢磨して取り組んでいる。現在「ゼロ」という職場はなくなった。一番多く集めた人は、1人100筆にの提起に対し、1500筆集めている。病院労組では全国の知人・友人の所るへ、返信用封筒を入れて郵送している。民

医連の組織や医療生協に頼んで、「18000筆をやるう」と言うことになった。日立農民組合では、東京の母親に頼んで沢山集めてくれた。

日本平和委員会の組織で、茨城に近い県や都の人たちに、平和運動の一つとして東海第二原発廃止の署名を集めてもらうように要請することは重要だ。自治労連の組合はあまり取り組んで

いないように見える。地域の市職に頼んだが、50～60筆くらいだった。霞ヶ浦市では市長が原発反対を表明している。組織人員は少ないが、出かけて行って、頼みたいと考えている。体内被曝の問題では、乳幼児に出ているという。地元の母親から、「医者にいわれた」と言うような「不安」も出ている。議会では「0.23μS未満だから、検査は必要ない」という。取手市では、学校の健康診断で、心臓に異常のある子が前年度よりも増えたという。報告書などは請求すれば、教育委員会には出すという。体内被曝の事実がデータとして見えて来ると思う。

普天間基地配備拒否のとりくみでは、茨城では一般的には、「沖繩のことだ」という見方になっている。「他県の事ではない、自分の県のことだ」認識してもらうことが重要だ。

## オスプレイはあまりに危険

【阿 見】 日本平和委員会では、艦載機の訓練のことも触れている。艦載機の訓練を耳慣らしとして、その先にオスプレイの訓練が出てくるという。

【土 浦】 オスプレイはボーイング社で作っている。いま事故後多くて問題になっているボーイング787を作っている会社だ。蓄電池（バッテリー）の問題だけでない。危険なもの入れないと宣伝える。

【阿 見】 オスプレイはあまりにも危険だ。でも、すでに300～400機も製造されているため、使わなくてはならないのだという。それが日本への「押しつけ」と言う形で出てきている。

【内 原】 情勢論議を深めるのもいいが、それをわれわれの力量のなかで、どのような運動を作っていくのかが大切だ。「来週27日の理事会に提出するのは何か」を確認しなければならぬ。



平和かわら版No. 645 (2月5日号) 別刷り

(2 / 4 ページ)